



# 訪ラオスCSA代表団派遣!!

昨年 11 月からラオスのルアンパバン県で建設中の CSA 寄贈第 13 番目になる小学校が、3月7日に落成し、その引渡式に代表団一行8名を、3月25日(火)~31日(日)、6日間の日程で派遣しました。



3月27日、首都ヴィエンチャンから空路40分。市内からバス20分の行程で、ルアンパバン県クッチナン村に到着。

炎天下、校舎までの沿道にずらりと並んだ生徒、村人、民族衣装の女性たちが、花束をもち、拍手で一行を出迎えてくれました。

引渡式は新校舎の教室で、窓口となっているラオス労働社会福祉省関係者、村長などの村人や、先生、生徒が総出で出席し、打田事務局長、酒井委員長の挨拶があり、続いて全郵政九州地域の皆さんから掛時計、文房具、運動用品の贈呈が行われました。

校長先生は、「生徒達のためにこんなに立派な校舎をいただき、感謝の気持ちでいっぱいです。

これから長い期間大切に使い、子供達をラオスの代表となれるよう育てます。」と挨拶。



在ラオス日本大使館で、橋本大使(中央)川田書記官(前列向左)と

代表団は……

- |        |            |
|--------|------------|
| 阿部 道郎  | 連合本部       |
| 上野 博行  | UI ゼンセン同盟  |
| 酒井 榮一  | 全郵政九州地本    |
| 西澤 昇治郎 | 石川島播磨重工労組  |
| 山室 光夫  | 全郵政九州地本    |
| 高尾 覺   | 全郵政九州地本    |
| 打田 照純  | CSA 事務局長   |
| 香川 眞理子 | CSA 事務局長次長 |



恒例の校舎完成を祝うラオス伝統儀式のバーシー式が会場を移して行われ、最後に校庭で記念植樹3本を行って引渡しを終えました。

代表団一行はその後山道を2時間程かけて、昨年引渡した12番目小学校を訪問して、校舎の検証を行い、先生、生徒と再会してふきの会寄贈の運動用品を手渡しました。

## ▷▷▷ 2003年訪ラオス CSA 代表団に参加して ◁◁◁

UI ゼンセン同盟 上野博行

CSA（アジア連帯委員会）からの要請により、「訪ラオス CSA 代表団」へ参加した。CSA は、活動の一つとしてラオス帰還民（ベトナム戦争時等の難民が祖国に帰還）居住地に対し小・中学校を寄贈する活動を続けてきたが、その 13 番目の学校の引渡し式への出席と、昨年建設した 12 番目の学校や高校寮などの様子を見るのが目的である。



3月25日、イラク戦争と悪性肺炎の2大不安の中、成田からバンコク（全郵政九州の3名は福岡発）へと飛び立った。2年ぶりのバンコクは相変わらず暑く（33℃）、乾季にも拘わらず連日スコールが続き、また経済状況は自動車産業を中心にかなり活況を取り戻しているとのことであった。

翌26日早朝、ラオスの首都ヴィエンチャンに向かう。バンコクから北北東におよそ800キロ、飛行機で1時間余りである。近代的高層ビルのバンコクから、赤屋根と整理された田んぼの緑のコントラストが綺麗な郊外、そして着陸間近の赤茶けた地肌と清貧な建物が点在するヴィエンチャンへと、飛行機から見る景色は変化していった。

初めてのヴィエンチャンの町は、バングラデシュのダッカより大きくカンボジアのプノンペンより小さいとの印象を持った。

翌日、引渡し式が行われるルアンパバンに向う。

旧都ルアンパバンはヴィエンチャンから北北西に400キロ、飛行機で40分の距離である。13番目の学校はクッチナン村の小学校、人口1,600人程のモン族と低地ラオ族の村で生徒数は373人（内35人が帰還難民の子弟）。

私達の到着を皆、整列して待っていてくれた。早速、引渡式が始まる。労働社会福祉省地方官、CSA 打田事務局長、そして本学校のメインドナーである全郵政九州地本酒井委員長の挨拶が続く。

教室には村の名士や父兄・生徒達、外には村人全員が集まったのであろう大勢の人々が群がる。壁時計やCSAペナント、文房具のプレゼント、そしてテープカットと一連のセレモニーが終わると、いよいよ「バーシー」の儀式が始まる。

これは、結婚式や新築祝いなどめでたい時に行うものらしく、祭壇を車座で囲み長老による祈祷の後、祭壇に刺した竹串に飾り付けてあった綿紡績を、まじない（多分、多幸と旅程の無事を祈る言葉と想像）を唱えながら地元民が入れ替わり立ち代わり、我々遠来の客の手首に巻いてくれるのである。（この紡績は家に着くまで手首に残り、お陰で無事に帰ることができた。）

料理は丸ごと蒸した鶏肉ともち米、そして強い酒ラオ酒（焼酎）である。素朴な料理であったが、この旅程で私は一番おいしく感じた。この後、12番目の学校（トンパンピライ村小学校）や遠隔地からの学生のための高校寮（サンティパーブ高校寮）を見学し、団としての頭初の目的を無事に果たした。

初めてこの団に参加し、初めてのラオス訪問であったが、当地での CSA の活動が 9 年に渡り地道に続けられ、ラオス政府はもちろんのこと日本政府からも高い評価を受けていることが解った。

とりわけ新しい学校を得た村では大変な喜びで、村人全員から感謝の気持ちが伝わってきた。子供達は、私達の「一生懸命勉強しろよ」という日本語での激励に、はにかみながら嬉しそうな笑みで応えてくれた。この中から将来、ラオスの国を支える人材が出ることを祈りながら、村を後にした。

CSA 常任理事

## 遠隔地高校生支援事業

# サンティパーブ高校寮生支援開始!!



高校寮引渡式 (2002.12.8)

昨年 4 月からラオス ルアンパバン県に建設中だった、サンティパーブ高校寮がこのほど完成し、2002 年 12 月 8 日に、金杉会長他 2 名を派遣して、ラオス教育省とサンティパーブ高校長に引渡しをしました。

寮生 24 名は、ラオスの北部 6 県から親元を離れ、校長、寮父母監督のもと、寮で生活し、同じ敷地内の高校に通学しています。

小学校の引渡式で訪れた CSA 代表団一行は、寮内を見学し、学生たちの礼儀正しいあいさつを受ける一方、始業ベルが鳴っても一向にあわてない学生を見て、しばし、日本の学生と比べて文化の違いを感じていました。

寮前に整列した寮生と寮監の先生→



## 常 任 理 事 の 交 代

以下の方々が交代されました。旧役員の方には心からお礼を申し上げます。

### 団 体 名

全 通  
中央労福協  
J A M  
建 設 連 合

### 退 任 役 員

吉村 徳雄  
金内 惟行  
津田 和良  
野村 昭典

### 新 任 役 員

増田 吉行 (中央執行委員 政治部長)  
野澤 雄三 (事務局長)  
村岡 伸江 (教育行動局部長)  
曾根崎 義治 (副書記長)

# 歓迎の人・人・人

## 「クッチナン村」に小学校贈呈！

全郵政九州地本 山室 光夫



全郵政九州地本は、一昨年から活動の原点である「人を思いやる心を育てよう！」とボランティア活動に力を入れ「ラオスの子どもたちに小学校を贈る」募金運動に取り組んできた。

このたび、CSA/全郵政九州地本支援の特定校としてラオスのルアンパバン県・クッチナン村に無事小学校が完成、新校舎引渡しの為、全郵政九州地本から3名が、CSAメンバーと一緒にラオスを訪問、贈呈式に参加させていただいた。新校舎が建設されたルアンパバン県は、ラオスの首都ヴィエンチャンから飛行機で東に約40分余りのところに位置し、王朝制を敷いていた頃の都で、古い寺院と木々に囲まれた世界遺産に指定されている歴史ある街である。

引渡式当日は、朝から30℃を越す真夏日。クーラーがあまり効かない小型バスでクッチナン村へ向う。舗装もされていないデコボコ道を車で走ること約20分、目的地に到着。学校の500メートルほど前から村人と子供たちが総出で出迎える。大歓迎の中、バスを降り歩いて「サバイディ・サバイディ」と挨拶を交わしながら校庭の中へと進む。校舎は国連基準のニューモデルが採用され（5教室+職員室）一棟で、家具、トイレ式給水設備等が備わっていた。学校周辺には2村あり、人口1,731人、その中373人の生徒が学べるようになったとのこと。先生は11人（うち女性教師8名）いるそうだ。前日訪問した日本大使館での橋本ラオス駐在大使の話によると「学校の先生の給料もひどいときは3ヶ月以上も遅れる」との話が頭を過ぎるが、明るい笑顔を決やさず対応していただく先生に頭が下がる。式では、CSAを代表して打田事務局長が「13番目学校を贈呈できて大変うれしい。日本には“親の背中を見て子は育つ”ということわざがある。大人の皆さんも学校を、教育を大切にしてほしい。」とあいさつ、その後、全郵政九州地方本部の酒井委員長が「贈呈までには、九州12,600名の組合員全員の善意があった。有意義に使ってほしい」と激励の言葉を述べた。

今の日本と比べると、想像出来ないくらい厳しい「衣・食・住」の現状にあるラオスの中にあっても、学校を贈られた子供達の表情は、瞳がキラキラ輝き、笑顔の印象的な子どもばかりであった。その笑顔を見た時、学校を贈って本当に良かったなと思いました。

最後に、このような素晴らしい国際貢献にご協力いただいたCSAに、心からの感謝を申し上げたい。



文房具の贈呈に大喜ぶる生徒達  
左端は酒井全郵政九州地本委員長

# 第 74 回メーデー中央大会に参加！！



右手をあげて、エールを送る金杉会長（中央）

昨年に続き、労働者の祭典であるメーデーへの NGO、NPO 団体の参加ですが、今年は NGO 紹介や連合と NGO の共同メッセージの発表など、両者の連帯をアピールするメーデーとなりました。

CSA は、平成 15 年 5 月 1 日（木）代々木公園で行われた連合主催の“第 74 回メーデー中央大会”に NGO / NPO 31 団体の一つとして参加。

初夏を思わせる晴天の会場入口近くのテントでパネル展示やビデオでの活動紹介、またパンフレットの配布を行いました。



---

---

## ベトナム協会便り

---

---

平成 15 年 4 月 13 日（日）渋谷区千駄ヶ谷の全郵政会館で、日本在住ベトナム人協会主催の「ベトナム建国記念日」祝賀交流会が開催されました。

CSA からは打田事務局長がお祝いの言葉を述べ、常任理事の方々も出席して、日本在住のベトナム人と日本人との交流を深めました。



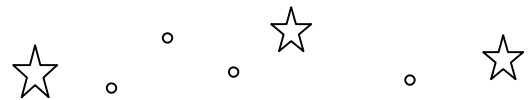
---

---

## ラオス協会便り

---

---



平成 15 年 4 月 27 日、在日ラオス協会主催の「ラオスソンカン（正月）祭」の行事が、神奈川県大和市の勤労福祉会館で行われました。

伝統の仏教儀式やバーシーに続きラオス手作り料理で懇親を深めました。

CSA からは事務局長が出席し、ラオスの人々とラオス正月を祝いました。

## 学校建設募金について

(平成 14.11.1 ~ 平成 15.5.1)

次の方々からご協力をいただきました。  
心よりお礼申し上げます。なお、今後ともご協力  
下さいますようよろしくお願い申し上げます。

窪田 哲夫様 ---- 4,038 円	井谷 真美様 ---- 3,000 円	辻村明津司様 ---- 3,000 円
金杉 秀信様 ---- 6,000 円	多田とよ子様 ---- 5,000 円	盛田 義子様 ---- 1,000 円
西澤昇治郎様 ---- 3,000 円	森田 晃次様 ---- 2,000 円	山田 行雄様 ---- 1,000 円
佐藤美恵子様 ---- 1,000 円	山根 隆治様 --- 10,000 円	大滝 雅勝様 ---- 1,000 円
相馬 末一 様 ----- 1,000 円	第 74 回メーデー参加者様 ----- 820 円	
全郵政九州地方本部様 ---- 5,000,000 円	大末建設労組様 ----- 5,000 円	
全産交運輸労組様 ----- 10,000 円	(株)三陽商會様 ----- 300,000 円	
交通労連本部様 ----- 15,000 円	凸版印刷労組板橋支部様 ----- 60,000 円	
蔵王エコーランド労組様 ----- 1,000 円	航空連合様 ----- 50,000 円	
関東西濃運輸労組様 ----- 5,000 円	四国高速運輸労組様 ----- 10,000 円	
北海道西濃運輸労組様 ----- 5,000 円	造船重機労連様 ----- 500,000 円	

## 輸送募金について (平成 15.2.4 ~ 平成 15.5.1)

連合茨城様 ----- 500,000 円

### ラオスの子供たちに

## 小学校を贈る運動キャンペーン

平成 6 年(1994 年)から始まった「ラオス小学校建設支援」は、今年で 9 年目を迎え、皆様のあたたかいご支援のもと、平成 15 年 3 月までに小学校 12 校と中学校 1 校、合わせて 13 校が完成し、現地の子どもたちに贈られました。

子供たちの笑顔がもっと増えるよう、ぜひ「学校建設募金」にご協力をいただけますよう、心からお願い申し上げます。(詳しくは同封のチラシをご参照下さい。)



ア ジ ア 連 帯 委 員 会 ( C S A )

〒160-0022 東京都新宿区新宿 6-29-5 吉田ビル 301

Tel:03-3204-6015 Fax:03-3204-6035 メールアドレス cak38110@pop17.odn.ne.jp